

令和4年度
(2022年度)

上下水道局の取り組み

<局の方針・考え方>

水道・下水道事業を持続的・安定的に取り組んでいくため、公営企業として独立採算の原則を念頭においた戦略的な経営の推進と水道ビジョン2022・下水道ビジョン2022に掲げる以下の基本理念を実現し、また、水道法改正による水道の基盤強化や下水道法改正による浸水対策の強化、SDGsの達成など社会情勢の変化に局一体となって迅速に対応できる執行体制を整備します。

【基本理念】

未来につなぐ 枚方の水道
未来につなぐ 枚方の下水道

<局の構成>

経営戦略室上下水道計画課
経営戦略室上下水道財務課
上下水道総務室総務課
上下水道総務室営業料金課
上水道室上水道管理課
上水道室浄水課
上水道室上水道工務課
上水道室上水道保全課
下水道室下水道管理課
下水道室汚水整備課
下水道室雨水整備課
下水道室下水道施設維持課

<主な担当事務>

- (1) 局の事務事業の見直しの総括に関すること。
- (2) 局の総合計画及びその調整に関すること。
- (3) 局の予算及び決算に関すること。
- (4) 文書及び法規に関すること。
- (5) 職員の人事、給与及び福利厚生に関すること。
- (6) 水道及び下水道の整備に関すること。
- (7) 局の工事の検査及び審査に関すること。
- (8) 局の危機管理に関すること。

重点的な取り組み：適正な予算編成と執行管理

新型コロナウイルス感染症の影響下においても、将来にわたって安定的に水道・下水道サービスを提供できるよう、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上を図る必要があります。このことから、上下水道局が一体となり、将来世代に負担を先送りしないよう、計画的な事業執行と長期的視野をもった財政運営を行います。

重点的な取り組み：雨水整備事業・浸水対策

近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、楠葉排水区において引き続き雨水貯留施設等の整備を進めます。また、浸水頻度の高い地域の被害軽減に向けた工事や設計業務に取り組みます。

<シールドマシン到達>



<推進工準備中>



重点的な取り組み：中宮浄水場更新事業

安全・安心で持続可能な水道の供給を実現するために、令和9年度（2027年度）からの本格稼働を目指し、新たな中宮浄水場の詳細設計に取り組みます。



[完成予定図（イメージのため今後の進捗に伴い変更が生じる場合があります。）]

重点的な取り組み：下水道施設の老朽化対策・地震対策

市民生活の安全確保を図り、老朽化対策などに取り組むため、下水道整備基本計画や予防保全型を重視した計画的な下水道施設の改築及び耐震化を定めた下水道ストックマネジメント計画を着実に推進し、維持管理に係るライフサイクルコストの最小化を図ります。

「管路施設」については改築計画の作成、改築工事及び楠葉処理分区において管路施設の耐震化工事に取り組みます。

また、「ポンプ施設」については蹠跎ポンプ場機械設備の改築工事、出口汚水中継ポンプ場受変電設備等の更新工事に向けた実施設計業務に取り組みます。加えて、耐震性能の確保に向けて北部ポンプ場で工事を行い、溝谷川・安居川ポンプ場では実施設計業務を行います。藤本川・黒田川・蹠跎ポンプ場では耐震診断業務を実施します。

管渠等の老朽化や誤接続により汚水管渠に雨水等が浸入する「雨天時浸入水」の対策については、楠葉処理分区において流量調査を実施するとともに、令和3年度（2021年度）に実施した送煙調査の結果に基づき、発生源対策の検討を行います。また、汚水マンホール等からの溢水対策として既設管渠の管内貯留化工事を行います。

<蹠跎ポンプ場内部>



<北部ポンプ場外観>



重点的な取り組み：水道施設等の更新・耐震化事業

枚方市水道施設整備基本計画に基づき、引き続き津田低区配水場の既設1、2号池の耐震工事を進めるとともに、田口山配水場ポンプ棟の耐震補強設計に取り組みます。

水道管路については、送水管・配水本管・配水支管の更新及び耐震化を効率的・効果的に進めます。

重点的な取り組み：下水道マンホール蓋（ふた）の有効活用

現在導入している下水道マンホール蓋の広告について、新たな設置箇所を検討のうえ、8ヶ所を増設予定であり、今後も引き続き設置箇所の検討を行っていきます。

また、経年劣化などの理由で取り換えたマンホール蓋は、金属の売り払いで処分していますが、近年のマンホール人気から使用できなくなったマンホール蓋の販売を実施します。これらの取り組みにより、下水道事業のPRとマンホール蓋の広告収入及びマンホール蓋の販売収入による新たな財源の確保を図ります。

重点的な取り組み：危機事象への対策

生活に不可欠な水道水の供給と下水道による快適な生活環境の確保を持続するため、発生が予想されている大地震や風水害等の危機事象への備えとして緊急出動班の体制整備やマニュアルの作成、給水訓練等に職員一丸となって取り組んでいます。

令和3年度（2021年度）に和歌山市で発生した水管橋崩落事故の早期復旧のため、8日間にわたり職員を派遣しました。

派遣後は、この事故で得たさまざまな教訓を踏まえた災害対応訓練を実施しており、今後もより実践的な訓練の実施など、施設の老朽化に伴う漏水などの危機事象への備えにも取り組みます。



（和歌山市水管橋崩落事故の様子）



（和歌山市での給水活動の様子）

重点的な取り組み：オンライン化の推進

市全体として市民・事業者の利便性向上や非接触型行政サービスの提供等を目的とし、所管手続のオンライン化が推進されている中、上下水道局において現在紙媒体やメール等で受付している各種申請や事務手続き等について、Logo フォームの積極的な活用や先進的にオンライン化を実施している他市等の事例や手法などを参考としながら、オンライン化の実現に向けた課題解決の検証等を行い、上下水道局としてオンライン化の推進を図ります。

重点的な取り組み：人材育成

水道・下水道事業が、お客さまの信頼の上に成り立っており、24 時間 365 日公務員であることを全職員が認識し、服務規律の確保を徹底していくため、人権尊重を含めたコンプライアンスの浸透・定着に向けた取り組みを継続的に行っていきます。

また、水道・下水道事業ともに、高度な専門技術の習得が必要なため、外部研修への参加を促進するとともに、必要な技術が継承されるよう OJT の推進を図ります。併せて、有益な人材育成研修は、各職場だけでなく上下水道局全体においても積極的に実施します。

重点的な取り組み：広報・情報発信

水道・下水道の取り組みを積極的に PR するため、情報誌「Water 通信」の発行、ホームページや SNS の活用のほか、出前講座など様々な機会を通じて、引き続き広く情報発信していきます。